

(様式1-表)

令和8年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	20	豊田市立 大林小 学校	代表	成瀬 真弓
------	----	-------------	----	-------

※分野[a: 国際交流・国際理解、b: 地域連携、c: 自然体験、d: 環境教育、e: 学力向上、f: 交流体験、g: 福祉・ボランティア、h: 伝統文化、i: その他()]から選ぶ。

テーマ	「かかわる力」をもった子どもの育成	分野	i	その他
	サブテーマ		(その他)は分野を右欄に記入	コミュニケーション能力
学校づくりの視点(ねらい)	<p>本校では、自分の視点の多様化を図ることで、自己実現に向かって努力できる子どもの育成に努めている。視点の多様化を図るためには「人・もの・こと・時間」とのかかわりや自分自身とのかかわりが必要である。そこで、「かかわる力」の育成の場を授業・異学年交流・地域交流と捉え、学校づくりを進めていく。</p> <p>①異学年交流は、異年齢集団における他者を思いやる心や敬う心を育てる活動である。学年を越えて交流することで、互いに学びを得て、地域を愛し、豊かな心を育てていく。</p> <p>②生活科や総合的な学習の時間、行事等で地域との連携を図り、地域を愛する気持ちや豊かな心を育てていく。</p> <p>③美しい環境づくりを行うことにより、児童の心に、優しさと潤いをもたせるとともに、環境を大切にすることを高めていく。</p> <p>④体力向上の推進を図り、体育の授業での体力向上補助指導員を活用し、運動好きな子どもを育成する。</p>			
活動内容・計画	<p>①異学年交流では、ペア学年を組み、長放課と一緒に遊んだり学習を行ったりする。また、全校での活動のために、5、6年のリーダー会を計画的に実施し、児童の企画・運営力を伸ばす機会とする。</p> <p>＜異学年交流の年間計画＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 1年生を迎える会（1年と全校） 学校探検（1年と2年） ・6月、7月 異学年交流準備 異学年交流（5年と6年、3年と4年、1年と2年） ・11月、12月 異学年交流準備 異学年交流（5年と6年、3年と4年、1年と2年） ・2月 幼稚園・こども園との交流（校内見学・交流） ありがとう集会（4年と全校） 卒業を祝う会（6年と全校） <p>②子どもたちや学校のために活動していただいている多くのボランティアの方々とはふれ合うことで、地域の方に感謝する心や地域を愛する心を育てていく。2月には、お世話になっているの方々にお礼の手紙を書くために、4年生がボランティアや地域の方の活動を調べ、全校で紹介し、集会に招き、全校でお礼を伝える会をもつ。また、継続的な幼稚園やこども園との交流など地域のために自分たちができることを実感し、自己肯定感を育てていく機会とする。</p> <p>③子どもたちが校内整備員や地域ボランティアの方と一緒に花壇や運動場などの草取りをして学校の環境を整える。</p> <p>④体育の授業の充実による体力づくりのための工夫、基本的な動きの習得を行う。</p>			
補助員配置	<p>校内整備員 体力向上補助指導員</p>			
実績・期待される効果	<p>①交流が活発になれば、高学年一人一人に、下級生をリードしていく責任感やリーダーシップが育つ。 校内での迎える会や祝う会、ボランティアや地域の方にありがとうの手紙を書くことで、感謝の気持ちが育つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学年には、高学年になるための心の準備や低学年に対する優しさが育つ。 ・低学年には、上級生に対する信頼感や敬愛の気持ちが育つ。 <p>②地域と連携した活動を展開したことで、ボランティアをしてくださる方々への感謝の気持ちが高まる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育活動の一端を地域の方々に見ていただく機会が増え、学校への理解が深まる。 <p>③校内整備員が美しい環境づくりを行うことにより、子どもたちの心に、優しさと潤いを与え、環境を大切にすることを高まる。</p> <p>④体育の授業を充実させることで、基礎体力や基本的な技能の向上につなげ、運動に親しむ態度を育てる。</p>			
検証方法	<p>子どもの様子や保護者の声で検証する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子（授業感想等）や活動後の子どもの日記や作文などから。 ・学校保護者アンケートでの保護者からの意見や地域の声などから。 ・活動中の子どもの動き・表情などから。 			